

従業員からみた、あなたの工場のいいところ 0206

30年後の工場の絵が見えるか

お客様からみて、あなたの工場が、同業他社よりも優れているところを説明するとしたらどんな説明を行いますか。食品工場は安全で、製品がおいしく、常に利益を出し続けなければなりません。同業他社よりも、安全で、製品がおいしく、同業他社よりも利益率がよくなければならないのです

従業員の採用をやめ、新人教育を行わなければ、一時的には、利益がでますが、3年後、10年後、30年後の工場の明るい将来は無くなってしまいます。

私が、大学を卒業し、就職した工場は、私が入社後数年で、十分な数の新卒の採用をやめてしまいました。30年後を考えたときに、人材不足が明らかな状態になってしまったのです。

新卒が工場に入社してきても、先輩との年齢差がありすぎると、自然に新卒で入社したかたは、やめてしまいます。食品工場が30年後に存在するためには、毎年利益を出し続け、設備投資、十分な人材の採用、人材教育を行う必要があります。

特に、安全性は製品の安全性だけでなく、地域の方から見た安全性、従業員から見た安全性が必要です。入社を希望する従業員の方は、必ず、面接前に工場を外観から確認に来ているはずです。応募時に、工場の外観すら見ていない方は、本気で入社を希望していないともいえます。最寄り駅からタクシーに乗って、タクシーの運転手さんに「この工場の評判はどうですか」と質問してみると、地域の方の評判が聞こえてきます。

工場の周りで犬を連れて散歩している方に、「この工場はどうですか」と声をかけてみても地域の方の評判がわかりません。

従業員の出勤時間、退社時間に従業員の方の通勤時の服装、従業員が乗っている車、従業員の笑顔を見るだけでも、工場の雰囲気が伝わってきます。

人材確保のためには、いま工場で働いている方から見た、同業他社の工場との優位性が必要になります。

優位性は、単純に時給だけでは無く、「働きがい」「満足

感」があるはずです。

時給以外の数字で、あなたの工場の「いい会社」の優位性を説明できる数値を把握していますか。

例えば、従業員の離職率、新卒の離職率、残業時間、有給取得率、長期休暇の日数、残業時間をつける時間の単位、年間総労働時間、年間休日、一日の就業時間、昼食補助金額、出張手当、通勤費、各種手当、資格取得時の補助、従業員から見た、「いい会社」の優位性を数値で説明できることが大切です。

[食品工場の危機管理の基本](#) [危機管理センターについて](#) の [目次に戻る](#)

こんな事が聞きたい方は [連絡先](#) から お願いします。



<http://ja8mrx.o.oo7.jp/koujyou1.htm>